

特別会計

(単位:万円)

会計名	◎歳入決算額	◎歳出決算額
国民健康保険事業	87億8,651	87億3,376
介護保険事業	61億3,295	60億6,887
後期高齢者医療事業	19億8,595	19億5,363
土地区画整理事業	15億9,157	14億1,632
企業用地造成事業	7億605	6億8,890
公共用地対策事業	7億2,626	1億9,937
下水道事業	27億834	24億909
三谷町財産区	5,522	1,878
西浦町財産区	1,344	1,061
合計	227億629	214億9,933

企業会計

(単位:万円)

会計名		◎収益的	◎資本的
水道事業	収入決算額	19億6,774	2億3,050
	支出決算額	17億6,907	9億9,067
病院事業	収入決算額	72億3,833	6億3,674
	支出決算額	74億1,191	9億6,541
モーターボート競走事業	収入決算額	887億611	2,430
	支出決算額	854億5,650	14億1,784

モーターボート競走事業会計は、病院事業会計に15億円、下水道事業特別会計に7億円、合計22億円を繰り出しました。

健全化判断比率・資金不足比率

平成29年度決算における算定の結果、財政の健全度を表す健全化判断比率の4指標はすべて早期健全化基準と財政再生基準を下回っており、市の財政は健全性を確保できています。また公営企業会計でも資金不足は発生していません。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	蒲郡市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.65	20.00
連結実質赤字比率	-	17.65	30.00
実質公債費比率	-0.4	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は実質的な赤字が発生していないことを表します。
※将来負担比率の「-」は、実質的な将来負担が発生していないことを表します。

健全化判断比率

次の4つの指標で財政状況を判断します。

①実質赤字比率

一般会計などにおける赤字の程度を示す指標で、数値が大きいほど赤字額が多くなり、厳しい財政状況にあると言えます。

②連結実質赤字比率

①と同様の指標で、全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての収支状況を示すものです。

③実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさを示す指標で、数値が大きいほど返済以外に使えるお金が少ない状況にあると言えます。

④将来負担比率

一般会計などの借入金や、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す指標で、数値が大きいほど将来的に財政が圧迫される可能性が高いと言えます。

資金不足比率

(単位:%)

公営企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
病院事業会計	-	20.0
モーターボート競走事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0
企業用地造成事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率がない、資金不足比率が算定されない場合は、「-」と記載しています。

資金不足比率

公営企業ごとの資金不足額を示す指標で、数値が大きいほど経営状況が厳しいと言えます。